

## 開催概要

- ・ 日時：平成28年12月20日(火)14～18時
- ・ 出席者：86名(参加者：45名、傍聴者：41名)

### 内訳

- ・ 自治体：浜松市、中津川市、川辺町、富加町、名古屋市、桑名市、岡崎市、豊橋市、愛知県(小計9名)
- ・ 民間企業等：メーカー等5名、建設会社等4名、協会等団体2名、コンサルタント等10名  
その他のフォーラム事務局等5名、ファシリテータ(日本工営(株))4名(小計30名)
- ・ メンター：岐阜大学 大谷具幸准教授、(株)経営共創基盤 池田直隆氏(小計2名)
- ・ 国土交通省：総合政策局、大臣官房、中部地方整備局(小計4名)



## 結果概要

- ・ 自治体側からのプレゼンと班別討議を行い、自治体の抱える課題とその背景、課題解決の方向性について理解を深めた。
- ・ さらに班別に、企業側から解決策となるアイデアや技術についてピッチ(ショートプレゼン)を行い、各自治体の課題解決の観点から意見交換を行った。
- ・ 討議結果を踏まえ、各自治体は課題解決に向けて提案技術の現場試行や新技術導入のための調達方法等の検討を行い、企業側も更なる技術・サービス開発を進めることとなった。
- ・ メンターの岐阜大学の 大谷准教授からは、「非常に有意義なフォーラムであった。」とのコメントとともに、「この議論の到達点をどこに置くのか、進め方を工夫する必要がある。」との問題提起があり、各自治体の課題解決に向けてフォローアップを行っていくこととしてとりまとめた。

# 地方版フォーラム（中部） 討議概要

テーマ 1	管理水準に応じた効率的な道路舗装の点検診断技術と情報活用
参加自治体	浜松市（静岡）、川辺町（岐阜）
討議の狙い	道路舗装の点検診断やそのデータ管理を交通量等に応じて区分分けすることを目指している。このため、これに資する技術紹介を募り、その後の討議を通じて双方の条件が整う場合には現場試行のマッチングを行う。
討議の結果	<p>6者から路面性状調査技術が紹介され、1技術について現場試行を実施することとなった。</p> <p>これらの新技術を今後活用していくうえで、点検結果のデータベース化や管理水準の設定の考え方等が今後の技術開発ニーズとしてまとめられた。</p> <p>また、自治体側における管理水準の設定方法等の事例を自治体間で共有や横展開していくことが重要なことから、今後、本テーマを国民会議等の場でフォローアップしていくこととなった。</p>
テーマ 2	橋梁点検・診断に関する技術的アドバイスの仕組みづくり
参加自治体	中津川市（岐阜） 富加町（岐阜）
討議の狙い	職員の技術向上に向け、知識や経験に応じた研修プログラムの確立や技術提供サービスの活用が必要となる。このため、橋梁点検を事例に、他の自治体の取り組みや民間の研修、コンサルティングサービスの紹介を行い、研修プログラムの方向性やそれを支援する民間のソリューションに対するニーズを明確化する。
討議の結果	<p>6者から技術研修事例が紹介され、1技術の現場試行を実施することとなった。</p> <p>また、この仕組みづくりでは、同様の課題を抱える周辺自治体との横の連携が重要であることから、今回出席した自治体側では自治体間の連携の枠組みを検討するとともに、今回の出された提案を生かした新たな自治体支援体制や技術的アドバイス制度の確立を目指し、班別討議の出席者を中心に継続して取り組んでいくこととなった。</p>

# 地方版フォーラム(中部) 討議概要

テーマ 3	地域と連携した街路樹の剪定・植栽管理の効率化技術
参加自治体	桑名市（三重）、名古屋市（愛知）
討議の狙い	<p>街路樹の維持管理コストの高騰や老木化が課題となっており、植栽管理全体を見直し、景観面からの管理計画や街路樹のデータベース、剪定・防草等の新技術、地域協働等の導入による街路樹管理の統合的なマネジメントサイクルの確立と最適化、効率化、安全確保を目指している。このため、植栽管理の課題と解決の方向性の整理を行うとともに、植栽管理に関する技術動向の紹介を行い、統合的手法の確立に求められる技術開発ニーズを明確化する。</p>
討議の結果	<p>5者から樹木診断技術等の技術が紹介され、1技術の現場試行を実施することとなった。</p> <p>また、街路樹管理の実務やその財政上等の課題について理解を深めた後、マネジメントの考え方や植樹計画の抜本的見直し、IT技術を用いて住民の意見を取り込む手法や地域住民の減少や年齢構成の変化に合わせた街路樹の管理手法など幅広い議論が行われた。</p> <p>まだ維持管理計画の考え方が完全に確立していない分野であり、今回は官民相互で課題の理解を深めたことが有意義であったが、今後、自治体側の維持管理計画の検討や、企業側の技術開発動向をみながら本フォーラムにおいて継続テーマとして取り上げていくこととなった。</p>
テーマ 4	下水管渠の点検診断の効率化技術
参加自治体	岡崎市（愛知）、豊橋市（愛知）、愛知県
討議の狙い	<p>下水管渠の管理では、地下にある管渠、特に管内からの点検が困難な中小管渠の損傷の把握が課題となっており、確実かつ効率的な点検手法の確立が求められている。このため、民間企業の技術紹介を募り、自治体における実用化に向け、費用面や運用面での課題や技術開発ニーズを明確化する。</p>
討議の結果	<p>4者から点検診断技術が紹介され、これらの技術について自治体において、4技術の現場試行等を実施することとなった。</p> <p>また、これらの技術を活用し、コストを低減させるためには、自治体間や行政内部組織間（上水道と下水道など）の連携を行い、まとめて点検調査業務を発注するなどの行政側の工夫も必要であり、これらについても、自治体側で検討していくこととなった。</p>